関西

あらゆる繊維製品を再生

制服などの製造も可能

丸竹コーポレーション

高齢者住宅の運営などを手掛ける丸竹コーポレーション（大阪府泉南市）は、あらゆる繊維製品を繊維原料へと戻す特殊な技術の開発に成功した。介護業界と関係の深いリネンサプライ事業者やユニフォームメーカー・販売会社などに積極的に提案していく考えだ。

立花克彦
社長

工程数を減らし繊維の損傷抑制

同社の本業は、自治体などの災害備蓄用毛布の製造・販売。これまでにも古くなった毛布を裁断した上で新たな繊維と合わせて毛布に再生する技術は開発していた。今回の新技術は、化学繊維、天然繊維、混紡繊維など種類を問わずに加工・再生が可能なのが大きな特徴。

不要となった繊維を無数の針でひっかいてバラバラの綿にすることを「反毛」、それにより生まれた綿を「反毛綿」と呼ぶ。しかし従来の技術では、ひっかくたびに繊維が損傷してしまい、繊維の長さも短くなってしまうことから、反毛綿の用途はフェルトや軍手など一部に限定されていたという。

「それに対して、当社では、工程数を減らすことで繊維の損傷を抑えることに成功しました。これまでの反毛綿に比べて細い糸に加工することもできるため、Tシャツなど従来ではできなかった繊維製品へのリサイクルが可能です。また工程数を減らした分、繊維くずの発生も減らすことができ、環境保全にもなります」（立花克彦社長）

リネン事業者らに提案

▲再生した災害備蓄用毛布

環境保護意識が高い企業にPR

同社では、この反毛綿を「もったいない繊維」とネーミング。2023年11月に繊維再生事業部という専門部署を立ち上げた。既に軍手から軍手、ユニフォームからユニフォーム、ビジネススーツから災害備蓄用毛布などへの再生事例があるという。

「もったいない繊維」への加工賃は、元の繊維の種別にもよるが1キログラム300円から（税・運送費別）。なお、災害備蓄用毛布や業務用毛布、ひざ掛けなどへの再生・再販売は同社で対応可能だが、それ以外への再生は、古繊維製品の提供元が提携工場などに依頼して行う形になる。

「当社でも『フラワーホーム』という高齢者住宅を運営しているのでわかりますが、介護現場ではシーツや毛布、ユニフォームをはじめ多くの繊維製品を使用します。これまでは、古くなった製品は廃棄されていました。しかし、当社の技術を活用すればそれらをリサイクル製品として再納入できます。SDGsへの取り組みに熱心な介護事業者に対するPRにもなるでしょう」と立花社長はコメントする。

認知症啓発活動で協業

豊中市民向けサイトで情報発信

豊泉家グループ／日本駐車場メンテナンス

社会福祉法人福祥福祉会（大阪府豊中市）などからなる豊泉家グループは、豊中市民を対象にした地域密着型情報サイト「TNN豊中報道。2」を運営する日本駐車場メンテナンス（大阪市）と認知症に関する啓発活動を目的としたパートナー契約を締結した。

豊泉家グループでは、福祥福祉会の阿久根賢一理事長が書籍「認知症イノベーション～一人ひとりの〝パラダイス〟を創造するケアメソッド～」「認知症パラダイムシフト～究極の『n=1』を創造するケアメソッド」を執筆したり、一般消費者対象の認知症セミナーを開催したりするなど、約30年の介護事業で培った認知症ケアのノウハウを広く社会に還元することに注力している。次回のセミナーは3月23日に大阪市のグランフロント大阪で開催。参加費無料。事前予約制。

「TNN豊中報道。2」は市内の最新ニュースからグルメ・イベント情報、ディープな〝オモシロネタ〟まで幅広く発信するのが特徴。豊泉家グループは2023年10月より同サイトのスポンサーの1社となっていた。

◀契約締結式の様子

1月18日に配信された「認知症啓発シリーズvol.1」では、厚生労働省が進めている認知症と共生する社会の在り方に関する解説や、阿久根理事長へのインタビューを掲載。今後は1～2回程度のペースで記事を配信し、認知症当事者やそれを支える家族などに対する社会の理解を深めていく考えだ。

日本駐車場メンテナンスは06年の設立。立体式駐車場やコインパーキングの設計・施工・メンテナンスを主力事業とする。

優れた介護事業所を表彰

3月23日 都内でリアル開催

4U

蛯沢渉
社長

介護施設コンサルティングなどを手掛ける4U（兵庫県西宮市）は、コンセプトがユニーク、優れた取り組みを行っているなどの介護施設を選出・表彰する「第7回介護施設AWARD」を3月23日、社会福祉法人合掌苑運営の複合施設「鶴の苑」（東京都町田市）で開催する。

同社がオンラインを含めこの1年間に見学した全国100以上の施設・事業所の中から「ほかにはない取り組みが2つ以上ある」を条件に10ヵ所をノミネート。「はっぴーの家ろっけん」を運営するHappyの首藤義敬社長らの審査員に加え、一般参加者による事前・当日投票で大賞を決定する。

また、当日は合掌苑森一成理事長による特別講演「なぜ人が辞めない組織には理念が浸透しているのか?」のほか、名刺交換会、大賞受賞施設のオンライン見学会も行われる。

参加費は一般2500円・学生無料。定員35名。また、オンラインでの参加（無料）も可能。参加方法などは主催者のホームページなどを参照。ノミネート事業所も今後ホームページなどで順次公開予定。

週刊 高齢者住宅新聞

ためし読み

新規購読検討者限定

1ヵ月間（4号分）無料でお届け

※既に本紙を定期購読して頂いている法人・個人は対象外となります。

●発行形態
定期購読・タブロイド版、毎週水曜日発行
（月4回、各16ページ～）
●主要読者層
施設運営会社、介護サービス会社、医療法人、社会福祉法人、人材サービス、給食・配食会社、不動産・建設会社、土地所有者、設備機器・建材、システム関連、金融関連、自治体ほか
●年間購読料　23,100円（税込・発送料込）

高齢者住宅新聞は、介護・医療の経営や運営に役立つ情報をギュッと凝縮した経営専門紙です。取材を通じて「生きた経営・運営情報」を掲載しているのが特徴です。

「試して納得」

自動的に定期購読にはなりません!!

お試し期間が終了したら、お客様の定期購読のご意向をお伺いします。

お試し後、納得したら定期購読を!!

ためし読みのお申し込みはHPかメールにて

HP　高齢者住宅新聞　検索

Mail　info@koureisha-jutaku.com

お申し込み受付後、最新号から1ヵ月間（4号分）の高齢者住宅新聞をお送りします。

株式会社高齢者住宅新聞社　〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15 TEL.03-3543-6852 FAX.03-3543-6853 https://www.koureisha-jutaku.com